

シンバネットワーク協力事業 市民の夢応援プロジェクト～まちづくりプラン賞～

平成28年度 第2回浦添市子連 「少年の船」交流体験 キャンプIN渡嘉敷事業



1. 事業の目的

次代を担う子どもたちに対し、「体験活動等を伝え、渡嘉敷島から学ぶ」をテーマに他島の青少年との交流・体験活動を通して友情や生きる力を育むとともに、規律ある共同生活を通して友情を深め、自主性及び協調性を養い、併せて生きる力を育てることを目的に、浦添市子連「少年の船」交体験キャンプIN渡嘉敷事業によって、子どもの基本的な人格の形成と自立の確立を促すとともに、青少年の健全育成の原動力となる目的に実施する。

2. 事業の概要

子どもたちの自然体験、社会体験、生活体験の中、青少年同士の交流・体験活動をとおして友情や生きる力を育むとともに、規律ある共同生活をとおして自主性及び協調性を養うことを目的に、浦添市子連「少年の船」交流体験キャンプIN渡嘉敷事業によって、子どもの基本的な人格の形成と自立の確立を促すとともに、青少年の健全育成の原動力となる目的で実施する。

2. 事業の予定

(1) 名称 平成28年度第2回浦添市子連「少年の船」交流体験キャンプIN渡嘉敷事業

(2) 主催 浦添市子ども会育成連絡協議会

(3) 日程 平成28年8月18日(木)～8月20日(土) 2泊3日

(4) 訪問地 渡嘉敷村内 国立青年の家

(5) 参加人員及び団構成委員

(ア) 参加人数 64人

(イ) (内訳)・一般団員 市内に在住する小学4・5・6年生 計45人

※三年生以下は保護者同伴

市内に在住する中学生(副班長) 計 5人

・班長 市内に在住する高校生 計 6人

・役職員 名誉団長1人、団長1人、事務局長1人、事務局職員5人 計 8人

・団構成 5班編成 (一斑11人、小学生8人、中学生(副班長)1人、高校生(班長)1人で編成)

(ウ) ・経費 一般団員小学生 12,000円 (船賃、バス賃、シャツ、帽子など)

(エ)活動内容

(1)事前研修

地区	日時	交通機関	活動内容	場所
浦添市	8月6日(土) 9:00～13:00	保護者で送迎	事業概要説明、団員の心得 レクリエーション、体験学習準備	浦添市立中央公民館 3階大ホール

(2)本研修

月 日	交通機関	活動内容	宿泊
1日目 8月18日(木)	保護者で送迎 船・バス	結団式:泊港～渡嘉敷港～キャンプ場:入村式 ～オリエンテーション～テント活動～海洋研修(オープンカヤック・ スーパーフロート～水泳等)～野外炊飯～キャンプファイヤーの集い	キャンプ場
2日目 8月19日(金)	バス	野外飯盒～海辺散策～海洋研修(大型カヌー)～ビーチスポーツ～ 工作(砂、貝使用)～他青少年団体と交流～屋内スポーツ～星座観察	本館
3日目 8月20日(土)	バス・船 保護者で迎える	フォトウォークラリー(本館敷地内を散策し写真の問題に挑戦)～ 夏休み工作～退村式～渡嘉敷港フェリー～那覇港～解団式	場所:迎・解団式:泊港

(3)事後研修

月 日	交通機関	活動内容	宿泊
10月1日(土) 9:00～13:00	保護者で送迎	事業報告書の配布、寄せ書き レクリエーション、作文発表(代表)	浦添市立中央公民館 3階ホール

第2回浦添市子連「少年の船」交流体験キャンプIN渡嘉敷事業

活動報告書

月 日	活 動 名	内 容
28年5月16日 6月17日	会議・第36回市子連定期総会 市民の夢応援プロジェクトへ応募	・定期総会の事業計画書で報告、承認得る ・シンパネットワークまちづくりプランコースへ応募提出
6月18日 6月20日	船舶乗船の予約 会議・6月事務局会議に事業提案	・渡嘉敷村船舶課那覇連絡事務所64名予約 ・少年の船事業提案 実施日・場所・募集内容等
6月21日 6月21日 6月23日	少年の船募集案内パンフレット作成準備 会議・第2回理事会で少年の船事業承認 募集案内資料を印刷業者へ印刷依頼	・実施日・場所・募集案内・要項・内容等 ・事業の概要・要項等承認を得た ・印刷業へ11小学校児童生徒数16,200枚(4部×4, 100人)分印刷依頼
6月24日	印刷物が搬入	する要項・概要・申込書4部式のA4用紙で16,200枚を受領
6月27日 ～29日	募集案内パンフレットのより分け作業	・要項・概要・申込書16、200枚搬入 ・4年生以上にークラス別35枚束作業
7月1日	パンフレット印刷作業	・募集案内パンフレット不足で2, 000枚追加印刷作業
7月2日	市民の夢プロジェクトまちづくりプラン賞 公開プレゼンテーション	・市役所9F展望ロビーに昨年の写真パネルを持参・護得久会長がアピール
7月2日 ～4日	再度募集案内を人数分により分け作業	・1クラス、35枚束のより分け作業
7月5日 ～6日	少年船事業募集案内配布を依頼	11小学校4年生以上に配布ができる準備
7月10日	少年船事業への参加者募集開始	・11小学校4年生以上児童生徒に配布できるように校長先生宛てに配布依頼
7月11日	申込者受け付け始め	・少年の船事業目的に参加者の受付開始
7月15日	市民の夢応援プロジェクトまちづくりプラン賞の表彰式	・女子児童を一番目に受付28日までと
7月21日	まちづくりプラン助成金交付申請	・3名のスタッフで参加・40万円の希望予算に38万円のプラン賞を確保。
7月26日	会議 役職員の選任	・交付申請書・収支計画書・事業計画書 助成金請求書提出
7月27日	船舶乗船の追加予約	・少年の船事業3日間の役職員の選任
7月28日	班長の申込書を受付(郵送受付)	・当初の予約より参加者が増え予約追加
7月28日	募集締め切り	・浦添高校7人の参加者で受付決定
7月29日	事務会議(団員の申込者状況説明)58名決定	・45人の団員募集予定が62名の申込者
7月29日	事前研修会(説明会及び事前研修)に伴う資料作り	・市子連役員で話し合った結果、3名辞退、58名参加できるよう通知書作り準備
		・団員58名・班長・副班長・役職員が参加できるよう資料の準備

月 日	活 動 名	内 容
8月2日 8月2日 8月2日 8月3日	団員・班長等の決定通知及び説明会の案内発送 ユニホーム(シャツ) 帽子のデザイン調整 ユニホームの色・帽子の色選定 シャツ・帽子の注文	団員58名、班長・副班長・役職員への案内 ・シャツ・帽子選定・字幕の調整 ・シャツ・帽子の色確定・フォント確定 ・シャツ・帽子80名分を注文
8月4日	デザインにシンパネット名入れる 国立青年の家との電話打ち合わせ	15日か16日搬入できる予定 ・1日目から3日までのプログラムについて電話で打ち合わせ
8月6日	説明会と事前研修及び参加者負担金徴収 班長・副班長事前研修	・本研修事業の説明・心得・注意事項 ・結団式 ・団員58人と班長6人副班長6人役職員6人が参加・班団員・各班長・副班長の紹介と役職員の紹介・持ち物について・シャツ・帽子の説明 事前の班活動等・班長・副班長の話合い・事前の研修レク活動等参加者(団員)参加費徴収 全員58名分 ・本研修に向けて活動の打ち合わせ
8月12日 8月12日 8月15日	船舶乗船チケット購入 星座の講師依頼と打ち合わせ ユニホーム(シャツ)・帽子が搬入	・出発式・食事の仕方について事前学習 ・乗船チケット78枚(講師含む) ・星座の学習について打ち合わせ ・シャツの配布が始まる。団員・班長・副班長・職員80人分シャツ・帽子が搬入
8月18日	本研修(1日目)	・出発式(泊港)・入村式(渡嘉敷キャンプ場)・テント設営・水泳・ビーチスポーツ 飯盒活動(バーベキュー活動)キャンプファイヤの集い交流。班別創作出し物発表
8月19日	本研修(2日目)	・ラジオ体操・朝食活動海辺散策・海洋研修(二人乗りカヤック・スパーフロート・大型カヌー・工作(貝殻等で飾り付フレーム作り) ・キャンプ場より本館へバスで移動 夕べの集い(他団体との交流)・スポーツ交流 ・星座観察(夏の星座木星、土星、火星等) ・朝の集い 工作(砂絵アート)貝を装飾したフレームに仕上げる。
8月20日	本研修(3日目)	・退村式・渡嘉敷港より泊港へ帰郷・泊港にて解団式
9月23日 10月1日	少年の船後期研修の案内通知 少年の船事後研修 少年の船参加者の記念写真作り	・団員、班長、副班長・職員へ案内通知 ・第一部・事後報告会・作文作成・各班代表発表会・班交流・グループ記念写真・色紙への思いで一筆 ・第2部 メンバーのレク交流 簡単なジャンケンゲームで楽しむ

収入の部

収支精算書 第2回浦添市子連「少年の船」交流体験キャンプIN渡嘉敷事業

種 目	決 算 額	計 画 額	増 減▼	説 明
助成金	380,000	380,000	0	シンバネットワークまちづくりプラン賞
参加者負担金	708,600	504,000	204,600	市内小学生12, 000円の58名分 正副班長・役職員700円の18名分
寄付金	89	1,000	▼911	島袋
	1,088,689	885,000	203,689	

支出の部

種 目	決算額	計画額	増 減	説 明
交通費	260,040	256,180	3,8608	船賃(往復)小学生57名分85,500円 中学生、高校生、一般 19名分57,000円 他3名分7,980円 環境税22名分2,200円 車両2台＋運転手込みの船賃30,5 60円 燃料代5,000(泊港→渡嘉敷港→泊港) マイクロバス賃借料3台×3日 51,400円 (渡嘉敷港→キャンプ場→本館→渡嘉敷港) 駐車場使用料400円 正副班長・役職員の費用弁償20名20,000円
食材費	410,834	268,000	142,834	米、肉(ブタ肉、牛肉、鶏肉)ウインナーソーセージ・焼きそば、野菜類、卵、 パン、牛乳・バナナ・調味料、(バーベキュー夕食・朝食)洗剤・容器・タオル ペーパー・ティッシュペーパー・薪、氷、指定ゴミ袋等(3日分)昼食弁当代(2 食)食事代(食堂)3食 タ・朝・昼食
使用賃借料	26,280	33,800	▼7,520	キャンプファイヤーセット(トーチ、灯油含む)薪代・ガス代
教材及び講師謝礼	40,328	35,000	5,328	教材(砂絵アート材料・フレーム・貝ガラ付着用ピタガン・ピタガン用スティッ ク・ボンド・乾電池等)講師謝礼2名分 20,000円
印刷費	73,578	102,800	▼29,222	パソコン用インク・白紙・事務用消耗品 印刷機用マスター用紙・インク)写真用紙等
需用費	229,824	161,380	68,444	ネームプレートホルダー代 Tシャツ・帽子(プリント入り)80名分
保険料	24,000	18,000	6,000	全子連安全会費(300円の80名)
通信費	23,805	9,840	13,965	料金別納・切手代(通知案内・記念写真発送)
合 計	1,088,689	885,000	203,689	

8月6日 説明会及び事前研修



8月18日 出発式(泊港)



8月18日 入港と昼食・入村式



8月18日 水泳時間



8月18日 テント設営仕方の説明・設営実際



8月18日 飯盒炊飯 バーベキュー



8月18日 キャンプファイヤーの集い



8月19日 朝のラジオ体操と朝食



8月19日海辺散策と海洋研修(説明とスパーフロート体験)



8月19日 海洋研修(カヌー体験)



8月19日 海洋研修体験後の記念1班～6班



8月19日 貝殻を使ってのフレーム作り



8月19日清掃・移動(本館へ)他団体とタベの集い・スポーツ



8月19日星座観察の実際



8月20日朝のラジオ体操・砂絵アート(貝殻フレームに飾る)



8月20日退村式及び車中・船中・泊港(退団式)



8月20日 国立青少年の家にて 参加記念写真



第2回浦添市子連「少年の船」交流体験キャンプin渡嘉敷 2016.8.18(木)～20(土)

10月1日事後研修(作文作成・班代表発表・レク・思い出の一筆)

「各班発表者」



応募のきっかけ(父母)及び参加者の感想

★応募した子どもの父母より

- 引き込み思案の長女が「少年の船」に、行きたい希望をしたので驚くと同時にとても嬉しく思っております。こうした前向きな気持ちをきっかけに将来リーダーになる人材に育てて欲しいと願います。 準備・企画等を実行される皆さん、大変ありがとうございます。
- 精神的な都合で学校も休みがちになっていたため、自然に触れることで、「心を育む感動体験を」と見て、子どもに聞いたら、「参加したい」と言うので応募しました。迷惑をかけるんじゃないかと思っているのですがお願いします。
- 以前から浦添市子連「少年の船」キャンプに子どもが行きたがって、「4年生になったら参加できる」とこの夏を楽しみにしていました。是非参加させていただけたら幸いです。来年は父親の都合により転勤で県外に戻るので沖縄の思い出にしたい。

★第2回浦添市子連「少年の船」に参加して 班長 高校3年生

私はこの事業に参加してたくさんの事を学びました。まず、子どもたちをまとめる事の大変さです。

自分の事ばかり優先してなかなか話を聞いてくれず支持も通らず、どうすれば上手に伝えられるのか、三日間ずっと考えていました。

また、この事業にはたくさんの方が結集して実施できていることを研修が終わってから改めて感じました。

星空観察や貝殻工作、砂絵アート等の多くの事業があり、子どもたちにとっても、私たち班長にとってもいい思い出になりました。

海でのカヌー・スーパーフロート体験や水泳、それからテントの宿泊は自然の恵みを家の中で寝られることのありがたみがわかりました。

私は、高校生としてこの事業に参加して、本当に良かったなと思います。

これからもこの「少年の船」を継続して、多くの小学生に色々な思いを感じてもらいたいです。

★「少年の船」に参加して 小学校5年 勝連輝依子

今回「少年の船」団体で渡嘉敷島に行くことができたので良い思い出になりました。中でも、印象に残っていることはきれいな海と星いっぱいの夜空です。砂浜に出るとキラキラしたきれいな海が広がっているので感動でした。夜は展望台にいて、私の住んでいる地域では見ることができない夜空を見ることができた。「少年の船」でいい経験ができたと思うことは市内の違う学校、学年と仲良くなり、協力ができた。

普段、このように逢ったことのない人と一日過ごすことはめったにないことと思うのでとてもいい経験ができた。このことがきっかけに夏休みの自由研究について渡嘉敷島の生き物や地域の祭り等について深く知ることができました。この「少年の船」キャンプに参加したことによっていろいろな自然体験や学校や学年の違う人たちと交流を学ぶことができた。楽しい体験からさまざまなことを学ぶことができ参加して良かった。